

# 平成22年度 【 学園研究費助成金<B> 】 研究成果報告書

学部名 現代マネジメント学部

フリガナ カガ ヒロシ  
氏名 岡田 広司

研究期間 平成22年度

研究課題名 地域のネットワーク化による街づくりや商店街活性化など社会貢献活動の  
実践と展開プログラムの構築

## 研究組織

	氏名	学部	職位
研究代表者	岡田 広司	現代マネジメント	教授
研究分担者			
研究分担者			

## 1. 本研究開始の背景や目的等

これまで商店街活性化研究に取り組んできた。その成果が認められて活性化に取り組んだ桜山商店街は、活性化活動のモデルとして、経済産業省から評価されるに至った。街づくりや商店街活性化を望む地域は全国に多い。この研究を単なる一過性のものでなく、地域のネットワーク化を図ることにより、更に大きな社会貢献をもたらす新段階に進むことができる。本研究の目的は、新しい活動を実践・検証し、展開プログラムを構築することにある。街づくりや商店街活性化は、女子大生の感性が活かされる研究であると共に、マーケティングやマネジメントの実践的学習として、学生自身のビジネスマインドを育成する等、大きな意義をもたらす。

## 2. 研究方法等

地域の街づくり活動をネットワーク化することで相互に補完し、魅力のある商店街にするという目的を持って、次のように進めた。①地域の街づくりの事例を調査し、成功要因を分析する。②桜山という歴史、風土、資源など地域ドメイン力（地域の顕在及び潜在的魅力）の分析と検証。③地域ネットワーク化の実証モデルとして、長野県木祖村を取り上げ、その地域ドメインの調査と分析を進める。④木祖村の現状調査をもとに、桜山商店街活性化策とのコラボレーション活動を検討し、企画・実施案を立てる。⑤地域のネットワーク化による新しい活性化企画として、新商品の開発、夏祭りイベントを企画し・実践する。⑥コンセプト作りから始まり、企画・実践を通じた事業展開プログラムを検討し、新しい商店街活性化策をまとめる。

### 3. 研究成果の概要

これまで、地域に活力をもたらす、安全で安心なコミュニティを作り上げるという目標を持って、街づくりや商店街活性化を名古屋市は桜山商店街をモデルとして進めてきた。

本研究は、それを一歩進め、地域の街づくりのネットワーク化によって、各地域の特色、文化資産等、様々な力（地域ドメイン力）のコラボレーションを進め、相互に補完を実現し活性化力を高めた。実践には、従来の活動を参考に展開プログラムを提起し実行・検証した。

まず街づくりのあるべきコンセプトを設定し、それを地域のネットワーク化により実現するという手法である。街づくりのコンセプトは、商店街は住民のコミュニティの場であり、弱者が安全・安心して暮らせるバリアフリーが考慮された街、幅広い世代が融和し、地域に根づいた歴史や風土を伝える等、人と人、家庭と地域とを結ぶ場所である。そこで、衰退した地域の商店街を活性化し、賑わいを取り戻すことにより、このコンセプトが実現できるのである。

研究の成果として、次のような展開プログラムが確認された。①街づくりのコンセプトの構築、②SWOTT分析による地域ドメイン力の分析と確認、③地域の活性化にふさわしい新事業（新商品・イベント等）の探索、④新商品・新事業の開発・推進、⑤新事業・新商品の評価、⑥事業・流通チャネルの構築と展開である。

実践し検証された成果としてはいくつか挙げられるが、その主なものとして、新商品の開発と商店街の夏祭りがある。新商品とは、日本の名水百選の木祖村のきれいな水を素材とした地サイダー“さくら咲いたー”、文教地区の桜山ブランドと木祖村でとれる高原野菜と桜山商店街の老舗レストランとのコラボレーションによる“レトルト・カレー”と“コーンスープ”がある。これらの商品は文教地区に相応しく「就職活動」「入学試験」の良縁をもたらす合格セットとして大きな話題を呼び販売され、地域に貢献している。夏祭りには木祖村の特産物が活かされている。これらは地域のネットワーク化による新しい活性化活動の成功である。

### 4. キーワード

①商店街活性化	②街づくり	③ネットワーク	④バリアフリー
⑤商品開発	⑥マーケティング	⑦コミュニティ	⑧産学官連携

**5. 研究成果及び今後の展望**（公開した研究成果、今後の研究成果公開予定・方法等について記載すること。既に公開したものについては次の通り記載すること。著書は、著者名、書名、頁数、発行年月日、出版社名を記載。論文は、著者名、題名、掲載誌名、発行年、巻・号・頁を記載。学会発表は発表者名、発表標題、学会名、発表年月日を記載。著者名、発表者名が多い場合には主な者を記載し、他〇名等で省略可。発表数が多い場合には代表的なもののみ数件を記載。）

#### 著書

木戸啓仁『地域産業とマーケティング』[共著]、九州学術出版、2010年6月30日

岡田広司『増補改訂版、現代マネジメント概論』[単著]、あるむ、2011年9月1日（予定）

#### 学会発表

岡田広司「地域デザインと商品開発」商品開発・管理学会第14回全国大会シンポジウム  
(2010年6月12日、中京大学)

岡田広司「地域キャラクターのネットワーク化による商店街や街の活性化」日本知財学会  
第8回年次学術研究発表会（2010年6月20日、東京工科大学）

(研究成果としての著書・学会発表は研究途中における成果を含む)